

アセットマネジメント戦略

アセットマネジメント部門は、証券アセットマネジメント、不動産アセットマネジメントおよびオルタナティブアセットマネジメントで構成され、投資信託の組成と運用、不動産の運用、ベンチャーキャピタルやプライベートエクイティ、さらには再生可能エネルギーなど、幅広い資産運用を行っています。

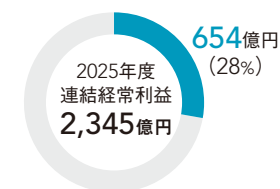


新妻 信介
アセットマネジメント担当

「金利のある世界」が定着し、日本の資産運用市場が転換局面を迎えるなか、アセットマネジメント部門は、グループの安定収益基盤であるベース利益の中核として、資産運用立国の実現に向けた重要な役割を担っています。2025年度は、証券AMにおける投資顧問ビジネスの本格化、不動産AMにおける私募ファンドビジネスの拡大、オルタナティブAMにおけるファンドビジネスへの転換に向けた着実な進展など、各事業が順調に成長し、AM部門のAUMは46兆円超へと拡大しました。

中期経営計画最終年度の2026年度は、証券AMでは顧客基盤の拡大と運用力の高度化、不動産AMでは物件ソーシング力強化や運用商品拡大などを通じたAUM拡大、オルタナティブAMではファンドビジネスへの転換加速に注力していきます。今後も運用力の強化と外部連携・成長投資の両面を推進しつつ、2030年度の目標であるAUM60兆円超を達成し、ひいては「お客様の資産価値最大化」に貢献していきます。

AM部門の経常利益



主な構成会社

証券アセットマネジメント(証券AM)

- 大和アセットマネジメント
- 大和ファンド・コンサルティング

不動産アセットマネジメント(不動産AM)

- 大和リアル・エステート・アセット・マネジメント
- 大和証券オフィス投資法人
- 大和証券リアルティ
- サムティ・レジデンシャル投資法人

オルタナティブアセットマネジメント

(オルタナティブAM)

- 大和企業投資
- 大和PIパートナーズ
- 大和エネルギー・インフラ

大和アセットマネジメント運用資産残高	44.2兆円
不動産アセットマネジメント2社*1運用資産残高	1兆7,978億円
累計投資社数・累計投資金額*2	2,382社／4,777億円
プリンシパル投資残高*3	2,900億円

*1 大和リアル・エステート・アセット・マネジメント、サムティ・レジデンシャル投資法人 *2 大和企業投資の累積数値 *3 大和PIパートナーズと大和エネルギー・インフラの合計

環境認識

- ◆ 資産運用立国や新NISA制度の定着を背景に「貯蓄から投資へ」の流れが加速
- ◆ 金利上昇局面における運用ニーズの変化
- ◆ 上場REIT市場の低迷と私募REIT市場の着実な拡大
- ◆ オルタナティブアセット投資への関心の高まり

強み

- ◆ 多様化する投資家の運用ニーズに応える商品開発力
- ◆ グループのウェアハウジング機能を活かした機動的な物件取得
- ◆ 良質な投資案件の積み上げと資本効率を重視した経営への転換
- ◆ 外部連携を活用した新たな成長機会の創出

事業リスク

- ◆ 証券AM: 運用資産残高減少による収益減リスク、収益低下が著しい場合の採算割れリスク
- ◆ 不動産AM: 不動産市場の変動リスク、人件費や不動産関係費などの費用上昇リスク
- ◆ オルタナティブAM: 投資先の経営状況や経済環境などの変化により、保有する有価証券などの売却損・評価損が発生するリスク